

北見赤十字病院 がんサロン ほほえみ

ほほえみ 通信 Vol 184

2025/5/30
発行

第184回 ほほえみ 開催

5月21日(水)第184回 ほほえみを開催しました。今回は3名の方に参加して頂きました。
参加に際しましては、感染予防対策のためマスクの着用と手指消毒のお願いを
させていただいておりますので、ご協力をお願い致します。

次回のほほえみは、6/18(水)14時から16時まで
本館3階 特別会議室での開催となりますのでご参加下さい。
【がんサロン事務局より】

ほほえみの皆さま、こんにちは。

(がん体験記)

父が胃がんで天国に召されてから40年もの月日が経ちました。当時の私は高校3年生。看護の道を決心し、遠方に旅立つ前の事でした。

授業で学ぶ事と父の症状が重なり、何とも言えない寂しさを感じた事を回顧します。

皆さんの中には、元阪神の横田慎太郎選手が脳腫瘍と闘い、引退試合では、奇跡のバックホームで守備ライトからホームまで遠投し、YouTubeや講演を続けました。24歳で永眠。幻冬社 奇跡のバックホーム 横田慎太郎

また、小児白血病で寛解した高校生が再発し、彼は、その治療や心理状態などをブログに残し、18歳で永眠。本人の意思で小児がんの研究の為、献体をされました。文芸社から不滅のワイルズ 穂積良洋著

横田さん、穂積さんは、その病と共存し、希望をもち、社会貢献し、徳を積む姿に深く感銘します。

ほほえみの皆さま、彼らの著書に触れて頂けると感謝です。

毎月19日は、ピンクリボンの日、殆どのがんは人間ドックや検診で見えられ、小さな内に治療が始まればとの医師達の見解もあります。

ほほえみでは、喜怒哀楽を共にして欲しいと、遠く関西より祈っています。

(和歌山県/女性/胃がん/がん患者家族)